

第54回九州地区医師会立 共同利用施設連絡協議会

理事 久貝 忠男



第54回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 日程表

日 時：令和5年7月15日（土）・16日（日）
場 所：出島メッセ長崎／ヒルトン長崎

連絡協議会会長 松元 定次（長崎市医師会会長）
連絡協議会実行委員長
平田 恵三（長崎市医師会副会長）

令和5年7月15日（土）

- 受付 2階 ホワイエ2
- 分科会司会・演者・座長打合わせ
1階 会議室109・110・111
- 第1分科会（医師会病院部門）
2階 コンベンションホール1
- 第2分科会（検査・検診部門） 1階 会議室101
- 第3分科会（高齢社会事業部門）
ヒルトン長崎3階 キャプタインスカマー
各部門管理者会（医師会病院部門）
2階 コンベンションホール1
- 各部門管理者会（検査・検診部門）1階 会議室101
- 各部門管理者会（高齢社会事業部門）
ヒルトン長崎3階 キャプタインスカマー
- 懇親会 2階 コンベンションホール2・3・4

令和5年7月16日（日）

2階 コンベンションホール1・2

特別講演Ⅰ

演題 「医療を取り巻く最近の動向と・日本医師会」
講師 日本医師会 会長 松本 吉郎 先生

特別講演Ⅱ

演題 「長崎の始まりと医学・医療」
講師 地方独立行政法人
佐世保市総合医療センター
理事長・院長 増崎 英明 先生

閉会行事

令和5年7月15（土）、16（日）の2日間、第54回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会が長崎県で開催された。主催は長崎市医師会、会場は新設の「出島メッセ長崎」でJR長崎駅と連結され実に好立地にあった。西日本新幹線の開通で駅が拡大されてとても活況を呈し、その雰囲気は会場まで充満していた。興味ある発表が多く“はしご”しながら拝聴した。

第1分科会（医師会病院部門）では天草の
 苓北医師会病院が白内障手術装置の更新費用の
 資金調達を目的としたクラウドファンディング
 の発表であった。目標1,000万円。医療機関の
 クラウドファンディングは実例があるものの一
 般的に抵抗感が強いと言われる。苓北医師会病
 院でも一部職員に反対意見があったが概ね賛同
 が得られ、チラシ募金、ケーブルテレビ、ラジ
 オ等で広報活動を行い、北は青森から南は沖縄
 まで1,300万が集まったとのことである。病院
 のいい時期の医業利益率1.4%から計算すると
 1,300万の利益を得るには9億3,000万の医業
 収益が必要となるとの計算であった。まさにク
 ラウドファンディング威力を痛感した。会場か
 らこの1,300万は医業外収益なのか、税金はか
 かるのかと質問があり、鋭い質問と感心した。

第2分科会（検査・検診部門）では那覇市医
 師会検診センターの医療情報ネットワークLHR
 システムの発表を視聴した。検診データをクラ
 ウド化し、検診受診者にデータを無料提供して、

個人が自分の意思でいつでもアクセスできるイ
 ンフラである。しかし、病院間で閲覧すること
 は困難で、おきなわ津梁ネットワークのような
 利活用はできないようである。

2日目は特別講演I、IIを視聴した。Iは松本
 日本医師会会長による「医療を取り巻く最近の
 動向と日本医師会」。その中で紹介受診重点医療
 機関の話が興味深かった。外来機能分化を進め
 るため地域で外来を基幹的に担う医療機関を県
 が「紹介受診重点医療機関」として公表し、地
 域医療支援病院とは別に急性期の患者が集中し
 ないような制度と認識した。病院のみならずクリ
 ニックの機能が高ければ認定されることもあり、
 紹介入院となると紹介受診重点医療機関入院診
 療加算800点が加算される。何とも上手く考え
 たものであると感心した。これは2022年から診
 療報酬に掲載されていると知って自身の浅学に
 赤面した。特定機能病院や地域医療支援病院以
 外の病院が紹介患者の受け皿になる可能性があ
 り、外来機能が一層集約されることと思われる。

第1分科会（医師会病院部門）

日時：令和5年7月15日（土）15：00～17：00 座 長：長崎市医師会（理事 真崎 宏則）
 場所：出島メッセ長崎 2階 コンベンションホール1 司会・進行：長崎市医師会（理事 橋本 清）

テーマ	発言施設	発言発表者
大分市医師会「臨時ドライブスルー発熱外来」の実施	大分市医師会	大分市医師会 副会長 石和 俊
クラウドファンディングによる白内障手術装置更新について	天草郡市医師会	天草郡市医師会立苓北医師会病院 事務長 福島 義男
地域密着型中核病院における常勤専門医がいない認知症ケア チームの取り組みと成果	白杵市医師会立	白杵市医師会立コスモス病院 看護師 高橋 鉄平
自治体主催の「高齢者入所施設新型コロナウイルス対策実地研 修」実践報告 —高齢者入所施設および障害者入所施設の現状と課題—		白杵市医師会立コスモス病院 感染管理認定看護師 後藤 純子

第2分科会（検査・検診部門）

日時：令和5年7月15日（土）15：00～17：00 座 長：長崎市医師会（副会長 宮村 庸剛）
 場所：出島メッセ長崎 1階 会議室 101 司会・進行：長崎市医師会（理事 土屋 知洋）

テーマ	発言施設	発言発表者
検診センターで構築する医療情報ネットワーク（LHRシステム）	那覇市医師会	一般社団法人那覇市医師会 生活習慣病検診センター 所長 崎原 永辰
糖尿病重症化予防への取り組み ～特定健診二次健診として尿中微量ALB定量検査を用いて	飯塚医師会	嘉麻市役所 保健師 山下 愛
あじさいネットの検査データ共有サービスと特定健診での活用	長崎市医師会	長崎市医師会 理事 奥平 定之